



～三国山ニッコウキスゲを守るためにシカ柵を設置しました～

赤谷プロジェクトでは、三国山登山道脇に咲くニッコウキスゲをシカの食害から守るためにシカ柵を設置しました。

ニッコウキスゲは、朝方に開花し、夕方にしぼむ一日花で、1株に3～10個の花をつけます。三国山では、例年7月中旬頃に見頃となり、毎年多くの登山者の目を楽しませてきました。しかし、近年は笹の侵入とシカの摂食によりその数を大きく減らしています。事実、赤谷プロジェクトにおいて2013年と2019年にニッコウキスゲ群落の花の数を調査したところ、2013年時点で2500本程度だった箇所は2019年で300本程、1000本程度あった別の箇所でも50本程と激減していることが分かりました。専門家からは「早急に対策をしないと絶滅してしまう可能性がある」との意見も出ています。

そこで、昨年度他署で台風被害により事業が中止になり余ったシカ柵の資材を提供して貰い、今年度設置することにしました。



作業前のミーティング



資材の運搬



三国山の会の皆さん



アンカーの打込作業

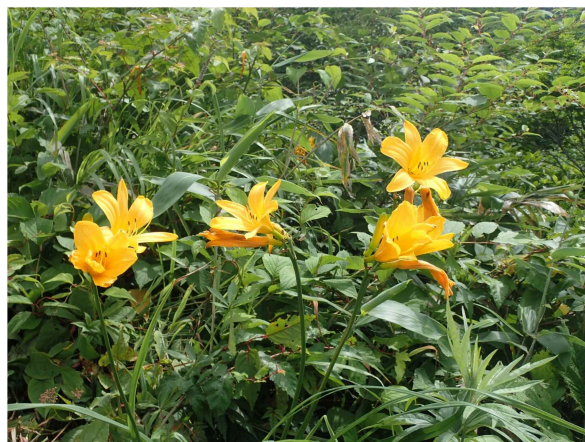
実施月日は2020年7月13日(月)、赤谷プロジェクト地域協議会、公益財団法人日本自然保護協会、環境省谷川管理官事務所、三国山の会、関東森林管理局から参加を頂き総勢14名で行いました。連日の雨でしたがその日に限っては天気恵まれて、絶好の作業日和となりました。現地に8時30分に集合し自己紹介を兼ねてミーティングを行い、その後新潟県側の登山口に移動し作業を始めました。最大の難関はシカ柵の資材を目的地まで運搬することです。年齢50歳以上の方が大半を占めていましたが、高齢の方ほど普段から山歩きには慣れているのか率先して重い荷物を持って頂き、無事登り切ることが出来ました。柵の設置については15m四方と小規模なものですが、皆不慣れだったこともあり最初は苦労しました。しかし、作業を進めて行くうちにコツを覚え、14時には無事完成することが出来ました。今年は柵を張るのが少し遅く、シカに食害された後で花は余り残っていませんでしたが、来年の今頃の柵の中は多くのニッコウキスゲの花が咲くことでしょう。

今後は毎年冬季の積雪による柵の損傷を避けるため、柵の上げ下げとメンテナンスが必要になりますが、更なる協力体制を築いて、ニッコウキスゲを守って行きたいと関係者は心に誓いました。この様子は、赤谷森林ふれあい推進センターホームページに詳しく載っていますので、是非ご覧ください。

※http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kanto/akaya_fc/index.htm



ネットの設置作業



美しい三国山のニッコウキスゲ



シカ柵の完成



参加メンバーで記念写真